



かぜっこだより



2020年10月9日 第7号 文責：納所小学校長 福田 浩一郎

学校教育目標 「心豊かに自ら学び 生き生きと活動する納所っ子の育成」

～ とともに 伸びる 教育活動の実現 ～



「の」…のぞみをもって がんばる子 「う」…うつくしい心で 思いやりのある子 「さ」…さわやかで たくましい子



運動会のご声援、ありがとうございました。

先日の運動会にご声援くださった、ご家族の皆様、ありがとうございました。暑さ対策やコロナウィルス対策で内容や注意事項など、いろいろと模索した運動会でした。ですが、曇り空のすこししやすい天候に恵まれ、半日開催の運動会を終えることができました。当日を迎えるまでお子さんを支えてくださった、ご家族の皆様のおかげです。また、片づけもお手伝いいただき、大変ありがたく思いました。



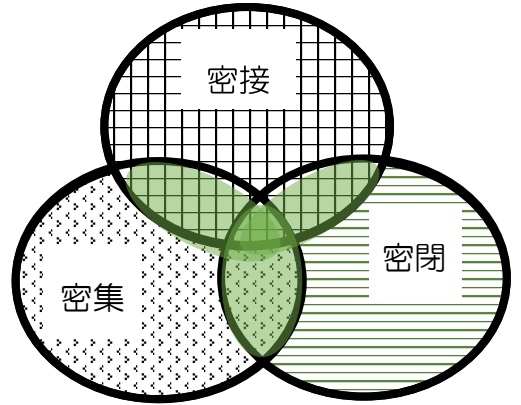
全校朝会の話題 10月7日(水)

10月の全校朝会を行いました。今回取り上げた話題は、以下の3つです。

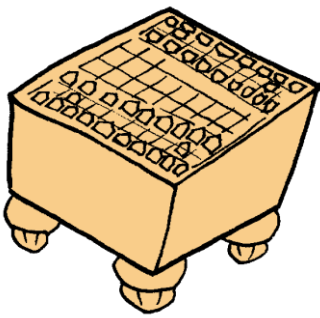
①自ら考え、行動する

コロナウイルス対策のために、「新しい生活様式」が提言されています。子どもたち自らが取り組んでほしいことは、マスクの着用、手洗い、周りの人との距離を保つことなどがあります。また、正面を向いて話さない、三密を避けるなどもあります。他にもたくさんの提言がありますが、子ども達に、自分が考えて行動することの大切さを話しました。また、3密という言葉は知っていても、難しい3つの言葉からなることも話しました。

- 密閉…隙間のないように きっちりと閉じること
- 密集…隙間もないほど ぎっしりと集まること
- 密接…隙間のないほど ぴったりとくっついていること



②ピンチはチャンス



7月や8月に話題になった、将棋の藤井聡太二冠の話をしました。現役の高校生で、18歳1か月の八段昇格は、最年少記録という事で話題になりました。最年少記録の更新は、62年ぶりだったそうです。

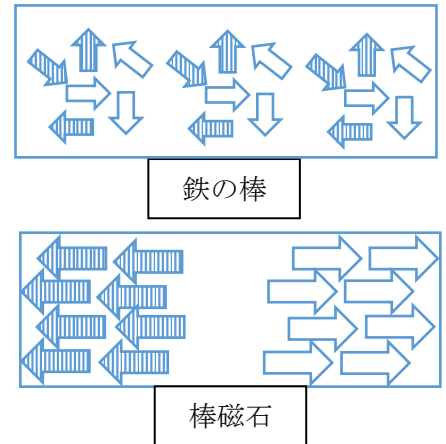
その藤井さんは、コロナウイルスの影響で対戦のなかった2か月(4月5月)を振り返って、『自分自身、将棋を見つめ直すことが出来たのがよかった。』と語っています。昨年12月の王将戦に負けたあと、将棋の勉強を相当したのだらうと思います。そして、7月の棋聖戦、8月の王位戦を制したのです。ピンチだなあと考えたとき、自分にできることを考えて行動すれば、それはチャンスになるという事だと思います。皆さんも、今できることを頑張してほしいと思います。

③磁石の力

磁石の力は、同じ向きに鉄を引っ張る力が働いていると、考えられています。力がいろいろな方向(右図)を向いていたら、磁石ではなく、鉄の棒です。

- みんなが同じ方向を向いて、
- みんなが同じ目標を持って

みんなが同じように力を出せば、活気のある楽しい学校になると思います。毎日の生活の中で、学級目標や生活目標、今日の目当て、学習の目当てなどを意識して生活してほしいと思います。



今年もイチゴ栽培頑張ります



育友会副会長の井上さんに協力していただいて、4年生がイチゴ栽培に挑戦することになりました。朝、ビニールハウスの中を見たら、雑草がきれいに除去されていて、すぐに植えられるようになっていました。井上さんが、時間を見つけて準備してくださったようです。

毎年4年生が地域学習の一環としてイチゴ栽培に取り組んでいます。作業の大変さや日々のお世話や収穫の喜び、ビニールハウスの中の温かさなどあまり経験できないことをこれから学んでいくと思います。収穫することを楽しみに頑張してほしいと思います。

